

かわべ

発行 河辺村公民館
編集 館報編集委員会
電話 河辺 17番
佐川印刷 KK
吉田町北小路 2-0600

昭和五十二年を迎えて

村長 稲田三温



皆さん明けましておめでとうございませう。新春のお喜びを寿ぎ村民各位の御多幸を心から祈り申し上げます。なおあわせまして、旧年中皆様には格別の御協力により、村行政の振興計画が遂行できましたことに対し衷心より厚く御礼申し上げます。

年頭に当り私の所感の一端を申し上げます。さて、早いもので私も今年二年目で通算十年の歳月が間もなく参りますが、今その経過を静かに振り返ります時、感無量のものがあります。この間、日本の経済は高度成長の波に乗り昭和四十八年まで国民総生産百五十兆円、世界第二位の工業国と言われるまでに飛躍しました。

しかし皆さんも御承知のとおり、あの石油ショック以来、特に工業生産の落ち込みはひどく、五十年には三〇、一〇と三分の一を割る不振となりました。今年は何とか七〇％台にのせる努力がなされていくと聞いています。

一時六〇％と言われた農林漁業者が、今では一割にも満たない現状です。又住民の意識も変化してきて、自給率四〇％と割っているありさまです。安価の輸入産物に抗しうる農業はまず土作り、つまり基盤整備にあると思います。将来の農林業改善の政策を今一度検討する必要があります。

今日、福祉優先等と称され、国の年金支払高は五兆円とも言われていますが、今少し我々はすなおに反省し、将来のあり方について語り合ひ、行動したいものだと思います。

それには、今日で言うコミニティー形成の必要性を強く申し上げたいのです。村内各区の集会所も逐次建築されてまいりました。地方の自治は、その住民によって行われるものであり、そこから盛りあがる皆さんの意志を調整し、より有効な郷土作りを図ることにあつていきたいと思います。

さてこのようなかで、地方自治体も総需要抑制策を余儀なくされる結果となり、計り知れない異変が起きて参りました。主な地域社会は都市化、そして工業化され、

河辺村人口動態

(S 52. 1月1日現)	世帯数	629
	人口	2,385
	男子	1,189
	女子	1,196
(S. 50. 10国調)	世帯数	666
	人口	2,368
(S. 45. 10国調)	世帯数	718
	人口	2,810



弘田 端徳

ゆかねばならないと思いをあらたに致しております。以上、抱負の一端を申しのべましたが、どうか本年も旧年に倍し倍したの御指導、御協力をお願い申し上げます。御挨拶といたしまして、

昨年末「成人の日」をただの休日で過ごしました。この世に生を受けて私も二十年、まだまだ子供供心の抜けきらない私ではあります。成人式を迎えた人誰かが思うことでしょうか、成人

20才になって思う
今日大人の口癖のように言われていることばに「今の若い者は」といふのがありますが、私も若者として決して気持ちよく耳



藤原 千鶴

成人式を迎えたらから、というのではなく、私は成人の日を大きな機会として今日までの考え、行動なりをも一度考えてみて、まだまだ遠い本当の大人を目ざして、明日からの一日くを頑張りたいと思っております。

成人の日に当って考えることにもいろいろありますが、私はこのことを深く考え、本場の成人者とう感じるのは何故だろうか。成人式を迎えても、今までの私の生活が変わるはずはないのに、内面的に見れば少しずつ変化しつつあるから不思議である。

僕が河辺村を出てからもう十五年にもなります。河辺村で過ごした十五年間は、いわば何の責任もない呑気な子供時代でした。楽しい思い出だけが残っているような気がしますが、「故郷に望む」という大変むづかしいことを書くべきところなのだけれど、僕の経験と意見では手に余りますので、今回だけは例外として思いつくままを書かせていただきます。

ふるさとの思い出
福岡市 角 藤 亮

雪の少ない時には、竹スキーをかついで山の上へ登って行ったこともありません。竹スキーも単に竹を割って曲げただけのものではなくて、板に打ちつけたり、皮バンドをつけてたり作ったものでした。スキーの名人として我々の慕った

成人式という子供と大人の境界線に立って、今一度私の二十年間をふりかえってみると、親のすねかじりっ子の学生色、色であることに気づく。そして、今も短大に在学中の私……。だから、二十歳という実感は別にならぬのであるが、それでも心の中で、「責任」という言葉が大きく幅を占めていくような感じがする。



成人者もカルタとりに奮戦

「成人の日」に「われわれ青年の主張全国大会を、久しぶりにいろいろ静かに聞くことができた。全国各地から難関を勝ち抜いて選ばれただけに、誰と云いようのないくらい皆んな大変上手であった。今年のテーマは「わたしの選んだ道」「わたしの親母親論」「ふるさとに思う」等について十名の全国代表が、若者らしく、それぞれの個性を發揮し、自己表現をしっかりと訴えているのを聞いて感心した。総評の中でも、「現代若者の壮烈な生きざまや、若さと個性が充分に表現されている」と評されていた。特に私の感じたことは、十名の代表がほとんど全員といってよいほど、学歴や家庭の経済的な面で決して恵まれておられない人達であった。そのような恵条件の中で父親母親が明るく、きびしく生活とたたかって生きてきたことをよくとらえて、自分もこの親達に負けず頑張りたいと主張していたことである。四国代表の藤井子さんは、身体障害者でありながらその障害にも負けず、人生には謙虚こそ大切だと立派に主張していたのが印象に残る。現代社会世相はこのように甘える傾向が強いつきにこのよま若者達が育ってきていることはまことに力強い感じを受けたいものである。

人間として社会に生れてきた以上、お互いに人として歩み行なう道歩みかねばならない。人の話を聞いたりの学習した際には、なるほどよい話だった、またよいことを習ったと思っても聞いていたことや習ったことが、行動としてあらわれなければ単なる個人の知識にすぎない。社会の不正や不幸に負けず、個人は全体の為にも、もちろん個人の権利や生活を大切にしながら、同時に社会全体の為にもなるようお互いに助け合い、励ましあつて、少しでも明るく豊かなふるさとづくりに努力する必要があると感じた次第である。

あすの農作業



栗冬場の管理

一、春肥の施用

どの作物も同じですが、肥料の効き方によって、花着きの多少、果実の大小に及ぼすものがあります。栗の肥料は少なくてもよいのではなく、いかんという考えの人が多いため、思われませんが、以外と肥料を多く要求する作目です。

農家の施肥の実態をみると、栗百キロ当り、年間施肥量チソ成分五分五厘(三九化成換算で四〇キロ)の割合で施肥している農家が、良品多収をあげているようです。今年はずいぶん高かった栗の栽培は、五年産栗代金の七割程度を肥料代として、栗園へお返しする気持ちで、施肥されるようになっていきました。施肥量は二、三回に分けて、春に六割、六月に二割、八月に二割の割合で分肥します。特に春肥は、イガ着きをよくします。二月下旬までに施すことがよいでしょう。

稲作

天牛の徹底的な駆除、クッサン卵の焼却を、栗間伐、せん定と併せて進めたいでしょう。

近頃は化学肥料にたよりに、地方が低くても化学肥料を多く施せば、稲は育つという疑問が生まれます。化学肥料は効き目が早いですが、有機物は緩やかに長続きし、土質を高めます。地方の高い水田は土壌中の有機物が多い水田といってもよいでしょう。

昨年の稲作は低温と日照の少ない天候で、近年に稀な収量と品質の低下をみました。特に冷地帯や地力の低い水田では、秋落ちが強く現れました。しかし、ふだんから土づくり管理がゆきこいた所では、この異常天候の影響も少なく、良質安定収量をえました。地方が除々に下がる今は、収量も横ばいから低下傾向にあるのではなからぬ心配があります。農閑期を利用して、今年の稲作はまず地力を高めることから出発し、年次の増収をはかりましょう。

二、害虫の駆除

(大洲農業改良普及所)

地域別年中行事

〇二月の行事	28日	〃
2日 お伊勢おどり(お)もり	〃	〃
(天) 未定 部落常会	(用) 山	
5日 お伊勢おどり	〃	〃
(国) 未定 部落常会	(出) 合	
〇三月の行事	〃	〃
18日 秋葉祭	(寺) 蔽	(百) 合谷
未定 部落おどり	(竹) 瀬	(川) 上
〇三月の行事	〃	〃
21日 大師様接待	(植) 松	(露) 内
24日 お伊勢おどり	(園) 木	(宮) 各

堆肥(牛ふん)	10a当り施用量	施用時期	備考
乾燥豚ふん	500kg	耕地約2週間前	1t以上施用のときは元肥窒素を減す
乾燥鶏ふん	200kg	〃	元肥窒素の60%程度で化学肥料との併用がよい
稲わら	200~300kg(温田では無施用)	3月まで	遅くとも10a当り10tを散布する
珪力ル	150kg	耕起整理前まで	遅くとも10a当り10tを散布する
深耕		農閑期の励行	乾土効果と除草効果が高い

お知らせ

河辺村社会福祉協議会は昭和四十八年に葬儀用祭壇を購入し、会員の皆様にご利用頂いておりますが、昭和五十一年十二月九日の理事会に於いて、葬儀用祭壇使用の一部が改正されましたので、今後ご使用いただく場合は改正要綱によりご使用いただくことになりました。ご協力を願います。

〇改正要綱は昭和五十一年十二月十日より適用いたします。現在までは、福祉課職員が村車にて申込者宅まで出向き、取り付け、

葬儀用祭壇の使用規定が一部改正

取りはずしを行っておりましたが、祭壇使用申込みは何時申込みがあるか予期できませんし、職員が不在又は職務上の都合で皆様方にご迷惑をおかけすることも憂慮されますので、このたび改正が行われるものです。

〇改正点

一、喪主より使用申込みがあれば、河辺村社会福祉協議会は一人責任者をつけ、取り付け取りはずしを行なう。

二、輸送する車については、喪主の責任において、自家用車又は借上げにより輸送し、使用後はすみやかに社会福祉協議会へ届けることとする。

三、使用料を納付するものとする。

その他の改正はありますが、使用料については現行どおり二日の場合五千円、二日の場合七千円です。火葬にされる場合は遺体輸送は現行どおり村車にて行ないます。

会員の皆様方より神式祭壇の購入要望もあり検討しておりますが、先の理事会において購入する式祭壇に準じます。

(河辺村社会福祉協議会)

人権思想の高揚に 作文・書道コンクール



作品を真剣に見る審査員

当村は今年度、人権モデル地区の指定を受けて、さまざまな意識啓蒙事業を展開されています。昨年の暮れには小・中学生による作文、書道の募集をおこない「人権思想高揚の啓蒙に関するコンクール」で二十六名が入賞し、入賞者には去る十二月十日、河辺中学校

において表彰式が(お)なされました。

〇作文の部

〇県人権擁護委員連合会長賞 坂本小六年 露口 里志

〇村長賞 坂本小六年 井上 和弘

〇松山地方務局長賞 中学三年 井上 和弘

〇教育委員賞 上久保鈴香

〇大洲人権擁護委員協議会長賞 中学三年 中野奈枝早

〇村長賞 井本 英人

〇松山地方務局長賞 坂本小六年 神山 直美

〇教育委員賞 坂本小六年 二宮千鶴子

〇県人権擁護委員連合会長賞 大伍小三年 松本 健治

〇村長賞 大伍小三年 梶川 清美

〇松山地方務局長賞 北平小五年 加茂美津穂

〇教育委員賞 坂本小六年 徳岡 静

〇大洲人権擁護委員協議会長賞 北平小五年 本山みや子

〇村長賞 河辺小三年 大野 盛喜

〇教育委員賞 河辺小六年 船田 裕美

〇村長賞 北平小四年 土居 美子

〇教育委員賞 北平小五年 山本 章仁

坂本小六年 松田 郁子

大伍小四年 梅木 純哉

大伍小六年 佐々木真由美

北平小四年 谷本 千景

北平小五年 山下 幼美

北平小五年 石井 美香

河辺小五年 森川 武昌

戸籍謄本の請求方法が改正 「使用目的」を明らかに

このほど、戸籍謄本の交付請求のしかたが改正されました。改正の理由は、戸籍を不当に利用して、国民のプライバシーを侵害することのないようするためです。

〇郵便で請求する場合の手続きは必ず現金書留か、郵便局の定額小為替で納めてください。

〇本人といつわたり、うその事由を示して、戸籍謄本の交付を受けたときは、過料に処せられることがあります。

林間放牧の経営について

稲田 勇

現在の和牛も大昔は野生の動物で、祖先が農耕を営むようになり、その手伝い役として家に連れ帰り飼育するようになったのだと言われています。その肉を我々が食べるようになったのは、日清露戦争の時、兵隊にスタミナ食として食べさせた以来、広く日本人が牛肉を食べるようになったといわれる。

そして現在では第一級のタンパク源となつたのですが、現代は農具の発達により、牛馬を農耕に使用することはなくなりました。したがって、飼育方も多頭飼育化の方向へと進んだのです。しかしながら我が国には飼料用穀物はほとんどなく、アメリカに頼るばかりではありません。

そこで考えられるのが、林間放牧で、狭隘なる土地を有効に運動も自由にできて大変元気に育てます。私が飼育しているのは牛産牛で一度も難産したことがありません。出産が全部夏なので山で適当にお産をし、自由に子牛を連れ歩き、山から帰る時には一五〇キロ位になっているのもおもしろい。

この林間放牧にも一つの大きな障壁があります。それは本村の植林区の一区くが非常に狭いことです。放牧適正区は二区が三町歩以上とされており、一町歩に二頭と言われております。それ以上を飼育すると木を傷める率が高くなります。

そこで一植林区三町歩以上と言っているAさんBさんCさんと三人分合せても結構なのですが、それには人と人の問題が出てきます。又ほかの人の足を引張たのは牛飼いのなりたちません。ここにも人づくりの問題があるのではないのでしょうか。

消息

(自) 51・11・11
(至) 52・1・10

雪おつる音背戸に聞く床の吾
よやくや寒のゆるみ知るなり

神山恵美子

おもほゆる父母やいかにぞ
過ごしているかも

名本 勲滋

バス待ちつ扉の一ツ葉とる腕に
冷たき雪の舞い上がりつ

関井恵美子

新春の第一日を雪踏みて
親子で語る晴れやかな朝
もうろくを自分に知らず
幾度でも

亡き母探す父のあわれさ

上林ヨシ子

座すことも苦しき君が次々と
歌評されいし面影の頭つ
死期近き病の身に歌に
まみえし時のみ教え忘れず

戸田 薫明

みぞれ止みて昏れゆく枯れ野に
立ち混じる椋木

白鳥のよそ浮きたちて見ゆ

(出生) おめでどういいます
寺 敏父 玉喜 真田美穂子
百合谷 〃 正寿 大森 寿
日其川 〃 喜久信 寿野 和男
上大成 〃 房道 富永 孝治
(結婚) 未だなくお幸せに
(宮下) 定幸(下大成)
(池田) 美智子(大洲市)
(柿本) 義隆(大中山)
(大塚) サカエ(野村町)
(死亡) おくやみ申し上げます
横山 向井スエ子 (五六才)
〃 井上アサヨ (六八才)
名場通 本竜 肇子 (七五才)